

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

警告 下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。



運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止

注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

- 警告**
 - 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
 - 乾電池は充電しない。
 - 指定された種類の電池を使用する。
- 注意**
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
 - 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客先相談センターへ	受付時間:
● ナビダイヤル 0570-00-3311	月～金 9:00～20:00
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	土・日・祝日 9:00～17:00
● 携帯電話・PHSでの利用は… 03-5448-3311	
● Fax 0466-31-2595	

SONY

コードレスステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-IF230

Sony Corporation © 1998 Printed in Korea

主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンです。別売りのトランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわずらわされることなく、手軽にお使いいただけます。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホン
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できるVOLつまみ
- 本機は、すでにソニーコードレスヘッドホンシステムをお持ちのかたがそれらのシステムでお使いになれるヘッドホンです。それぞれのモデルで使用しているのと同じ種類の電池が使えます。

別売りのトランスミッターが必要です

本機は単体ではご使用になれません。別売りのソニーコードレスヘッドホンシステムまたはソニー赤外線トランスミッターTMR-IF10KやTMR-IF33などと組み合わせでお使いください。

主な仕様

一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz 左チャンネル 2.3MHz
周波数特性	18 ~ 22,000Hz
電源	DC 1.5V(単3形乾電池×1) またはDC1.2V(充電式ニカド電池NC-AA(HJ)×1)
質量	約180g(乾電池含む)

付属品

単3形乾電池(1) 取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売りアクセサリ

赤外線トランスミッター
TMR-IF10K、TMR-IF33

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみ有効です。

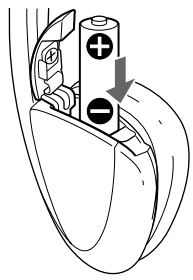
▶ 準備

ヘッドホンに電池を入れる

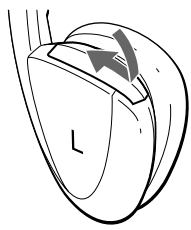
- 1 左ハウジングの上部にある電池ぶたを開ける。



- 2 付属の単3形乾電池を入れる。

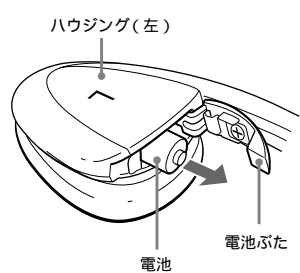


- 3 電池ぶたを閉じる。



電池を取り出すときは

ハウジングを水平にして電池ぶたを開け、下図を参照して電池を取り出してください。



電池についてのご注意

ソニーコードレスヘッドホンシステム MDR-125RKまたはMDR-IF230RKをお持ちのかたは、それぞれに付属している充電式ニカド電池NC-AA(HJ)を使用できます。充電式ニカド電池の取扱いについては、お持ちのコードレスヘッドホンシステムの取扱説明書をご覧ください。

電池の持続時間

電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池 LR6/AM3(N)	約100時間
ソニー乾電池 R6P/SUM-3(NS)	約50時間
充電式電池 NC-AA(HJ)	約30時間*

*フル充電した場合の使用時間

電池の交換時期

電池が消耗してくると、ヘッドホンの右側にある電源ランプが暗くなってきます。また、音がひずんだり、雑音が多くなります。その場合、電池を新しいものと交換してください。

▶ 使いかた

音声を聞く

お持ちのトランスミッターを聞きたいAV機器に接続します。トランスミッターの接続や操作については、トランスミッターに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。
- 2 トランスミッターの電源を入れる。

- 3 ヘッドホンをかける。
電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。



- 4 音量を調節する。



ヘッドホンはずすと自動的に電源が切れます

— オートパワーオン/オフ機能

お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようご注意ください。電源が入ったままになります。



ヘッドホンから音が聞こえないときは

— ミュート機能

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増え、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくと、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

お使いになったあとは

ヘッドホンはずしてから、ヘッドホンとトランスミッターの電源を切ります。(ヘッドホンはずす前にヘッドホンやトランスミッターの電源を切ると、雑音が入ることがあります。)

▶ その他

使用上のご注意

取り扱いについて

本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

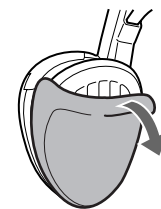
次のような所には置かないでください

- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所(なるべく5 ~ 35の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多い所

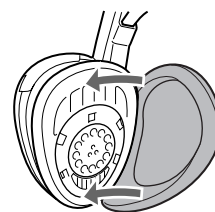
イヤークッションを交換するには

イヤークッションは消耗品です。汚れたり破損した場合は、お買い上げ店または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせください。下図を参照してイヤークッションを交換してください。

古くなったイヤークッションをはずします。



イヤークッションをハウジングの外周に合わせるようにはめ込んでいきます。



故障とお考えになる前に

音が出ない。

- トランスミッターとヘッドホンの電源を入れてから、ヘッドホンをかける。
- トランスミッターとAV機器、ACアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ミュート機能が働いている。
 - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
 - なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
 - トランスミッターの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。

音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。

雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。)
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所を使う。
- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。